

研修プログラム(薬剤部)

氏名

入職日

評価者

* 達成したら□にチェックする。

項目		採用1年目(4月～7月)
部署 目標		一人で日直・当直業務が出来るよう学ぶ
技術的	臨床における心構え・基礎	<input type="checkbox"/> 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮し、薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。 <input type="checkbox"/> 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。 <input type="checkbox"/> 急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 外来化学療法における適切な薬学的管理について実践できる。
	処方せんと疑義照会	<input type="checkbox"/> 処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。 <input type="checkbox"/> 注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。 <input type="checkbox"/> 薬歴、診療録、患者の状態から処方that妥当であるか判断し、必要時適切に疑義照会ができる。
	処方せんに基づく医薬品の調製	<input type="checkbox"/> 処方せんに従って計数・計量調剤ができる。 <input type="checkbox"/> 錠剤の粉碎、及びカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。 <input type="checkbox"/> 特別な注意を要する医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の調剤と適切な取扱いができる。 <input type="checkbox"/> 散剤・水剤等の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。 <input type="checkbox"/> 調製された薬剤に対して、監査が実施できる。 <input type="checkbox"/> 注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。 <input type="checkbox"/> 注射剤の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。
	患者・来局者対応、服薬指導、患者教育	<input type="checkbox"/> 患者・来局者に合わせて適切な対応ができる。 <input type="checkbox"/> お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。 <input type="checkbox"/> 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。 <input type="checkbox"/> 妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。 <input type="checkbox"/> 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。

<p>患者情報の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者及び種々の情報源（診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等）から、薬物療法に必要な情報を収集できる。 <input type="checkbox"/> 患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。
<p>医薬品情報の収集と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。 <input type="checkbox"/> 薬物療法に対する問合せに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。 <input type="checkbox"/> 医療スタッフ及び患者のニーズに合った医薬品情報提供ができる。 <input type="checkbox"/> 安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工ができる。 <input type="checkbox"/> 緊急安全性情報、安全性速報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。
<p>処方設計と薬物療法の実践 (処方設計と提案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。 <input type="checkbox"/> 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。 <input type="checkbox"/> 患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコールやクリニカルパスを活用できる。 <input type="checkbox"/> 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。 <input type="checkbox"/> アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。
<p>処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と副作用の評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定を提案ができる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果及び副作用について予測できる。 <input type="checkbox"/> 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。 <input type="checkbox"/> 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。 <input type="checkbox"/> 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。 <input type="checkbox"/> 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。

	<p>チーム医療への参画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師及び医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。 <input type="checkbox"/> 医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。 <input type="checkbox"/> 病院内の多様な医療チーム(ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。
<p>管理的</p>	<p>医薬品の供給と管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。 <input type="checkbox"/> 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬及び覚醒剤原料の適切な管理と取扱いができる。 <input type="checkbox"/> 特定生物由来製品の適切な管理と取扱いができる。
	<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を実践する。 <input type="checkbox"/> 施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例を基に、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。 <input type="checkbox"/> 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。 <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。 <input type="checkbox"/> 院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。
<p>外研修</p>		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会総会業務検討分科会並びに特別講演(長岡市) 5月下旬 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会佐渡支部 佐渡薬剤師のための学術講演会(院内) 6月 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 新任薬剤師研修会(新潟市宿泊) 7月上旬 <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会主催 新任薬剤師研修会(長岡市) 7月下旬 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 感染制御セミナー(新潟市) 6月 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 がんセミナー(新潟市) 6月

項目		採用1年目(8月～3月)
部署目標		病院薬剤師としてすべき業務を一通り実践する
技術的	臨床における心構え・基礎	<input type="checkbox"/> 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮し、薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。 <input type="checkbox"/> 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。 <input type="checkbox"/> 急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 外来化学療法における適切な薬学的管理について実践できる。
	処方せんと疑義照会	<input type="checkbox"/> 処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。 <input type="checkbox"/> 注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。 <input type="checkbox"/> 薬歴、診療録、患者の状態から処方が妥当であるか判断し、必要時適切に疑義照会ができる。
	処方せんに基づく医薬品の調製	<input type="checkbox"/> 注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。 <input type="checkbox"/> 注射剤の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。 <input type="checkbox"/> 注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。 <input type="checkbox"/> 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の手技を実施できる。
	患者・来局者対応、服薬指導、患者教育	<input type="checkbox"/> 患者・来局者に合わせて適切な対応ができる。 <input type="checkbox"/> お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。 <input type="checkbox"/> 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。 <input type="checkbox"/> 妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。 <input type="checkbox"/> 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。
	患者情報の把握	<input type="checkbox"/> 基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者及び種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。 <input type="checkbox"/> 患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。

技 術 的	医薬品情報の収集と活用	<input type="checkbox"/> 薬物療法に対する問合せに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。 <input type="checkbox"/> 医療スタッフ及び患者のニーズに合った医薬品情報提供ができる。 <input type="checkbox"/> 安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工ができる。 <input type="checkbox"/> 緊急安全性情報、安全性速報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。
	処方設計と薬物療法の実践 (処方設計と提案)	<input type="checkbox"/> 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。 <input type="checkbox"/> 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。 <input type="checkbox"/> 患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコールやクリニカルパスを活用できる。 <input type="checkbox"/> 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。 <input type="checkbox"/> アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。
	処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と副作用の評価)	<input type="checkbox"/> 医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定を提案できる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果及び副作用について予測できる。 <input type="checkbox"/> 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。 <input type="checkbox"/> 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。 <input type="checkbox"/> 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。 <input type="checkbox"/> 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。
	チーム医療への参画	<input type="checkbox"/> 薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師及び医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。 <input type="checkbox"/> 医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。 <input type="checkbox"/> 病院内の多様な医療チーム(ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。

<p style="text-align: center;">管 理 的</p>	<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を実践する。 <input type="checkbox"/> 施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例を基に、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。 <input type="checkbox"/> 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。 <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。 <input type="checkbox"/> 院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。
<p style="text-align: center;">外 研 部 修</p>		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会秋季研修会(新潟市) 11月中旬 <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会主催 新任薬剤師研修会(新潟市) 11月下旬 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会佐渡支部 佐渡薬剤師のための学術講演会(院内) 1~3回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 学術講演会(新潟市) 5回程度 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 感染制御セミナー 会場、日時未定 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 がんセミナー 会場、日時未定 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会共催 新潟薬学会(新潟市) 3月中旬

研修プログラム(薬剤部)

氏名

入職日

評価者

* 達成したら□にチェックする。

項目		採用2年目
部署目標		病院薬剤師としてすべき業務を一通り実践する
技術的	臨床における心構え・基礎	<input type="checkbox"/> 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮し、薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。 <input type="checkbox"/> 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。 <input type="checkbox"/> 急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 外来化学療法における適切な薬学的管理について実践できる。
	処方せんに基づく医薬品の調製	<input type="checkbox"/> 注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。 <input type="checkbox"/> 注射剤の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。 <input type="checkbox"/> 注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。 <input type="checkbox"/> 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の手技を実施できる。
	患者・来局者対応、服薬指導、患者教育	<input type="checkbox"/> 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。 <input type="checkbox"/> 妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。 <input type="checkbox"/> 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。
	患者情報の把握	<input type="checkbox"/> 基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者及び種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。 <input type="checkbox"/> 患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。
	処方設計と薬物療法の実践 (処方設計と提案)	<input type="checkbox"/> 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。 <input type="checkbox"/> 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。 <input type="checkbox"/> 患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコールやクリニカルパスを活用できる。 <input type="checkbox"/> 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。 <input type="checkbox"/> アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。

技術的	処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と副作用の評価)	<input type="checkbox"/> 医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定を提案できる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果及び副作用について予測できる。 <input type="checkbox"/> 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。 <input type="checkbox"/> 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。 <input type="checkbox"/> 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。 <input type="checkbox"/> 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。
	チーム医療への参画	<input type="checkbox"/> 薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師及び医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。 <p>医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。</p> <input type="checkbox"/> 医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。 <input type="checkbox"/> 病院内の多様な医療チーム(ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。
管理的	安全管理	<input type="checkbox"/> 特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を実践する。 <input type="checkbox"/> 施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例を基に、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。 <input type="checkbox"/> 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。 <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。 <input type="checkbox"/> 院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。
外研修		<input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会総会業務検討分科会並びに特別講演(長岡市) 5月下旬 <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会主催 新任薬剤師研修会(長岡市) 7月下旬 <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会秋季研修会(新潟市) 11月中旬 <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会主催 新任薬剤師研修会(新潟市) 11月下旬 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会佐渡支部 佐渡薬剤師のための学術講演会(院内)年2~4回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 学術講演会(新潟市) 年6回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 感染制御セミナー 年2回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 がんセミナー 年2回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会共催 新潟薬学会(新潟市) 3月中旬

研修プログラム(薬剤部)

氏名

入職日

評価者

* 達成したら□にチェックする。

項目		採用3年目
部署目標		病院薬剤師としてすべき業務を一通り実践する
技術的	臨床における心構え・基礎	<input type="checkbox"/> 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮し、薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。 <input type="checkbox"/> 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。 <input type="checkbox"/> 急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について実践できる。 <input type="checkbox"/> 外来化学療法における適切な薬学的管理について実践できる。
	患者・来局者対応、服薬指導、患者教育	<input type="checkbox"/> 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。 <input type="checkbox"/> 妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。 <input type="checkbox"/> 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。
	患者情報の把握	<input type="checkbox"/> 基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。 <input type="checkbox"/> 患者・来局者及び種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。 <input type="checkbox"/> 患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。
	処方設計と薬物療法の実践 (処方設計と提案)	<input type="checkbox"/> 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。 <input type="checkbox"/> 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。 患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコールやクリニカルパスを活用できる。 <input type="checkbox"/> 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。 <input type="checkbox"/> アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。 <input type="checkbox"/> 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。

技術的	処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と副作用の評価)	<input type="checkbox"/> 医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定のプロセスを提案できる。 <input type="checkbox"/> 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果及び副作用について予測できる。 <input type="checkbox"/> 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。 <input type="checkbox"/> 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。 <input type="checkbox"/> 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。 <input type="checkbox"/> 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。 <input type="checkbox"/> 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。
	チーム医療への参画	<input type="checkbox"/> 薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師及び医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。 <input type="checkbox"/> 医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。 <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。 <input type="checkbox"/> 病院内の多様な医療チーム(ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。
管理的	安全管理	<input type="checkbox"/> 特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を実践する。 <input type="checkbox"/> 施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例を基に、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。 <input type="checkbox"/> 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。 <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。 <input type="checkbox"/> 院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。
外研修		<input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会総会業務検討分科会並びに特別講演(長岡市) 5月下旬 <input type="checkbox"/> 厚生連薬剤師会秋季研修会(新潟市) 11月中旬 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会佐渡支部 佐渡薬剤師のための学術講演会(院内)年2~4回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 学術講演会(新潟市) 年6回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 感染制御セミナー 年2回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会主催 がんセミナー 年2回 <input type="checkbox"/> 病院薬剤師会共催 新潟薬学会(新潟市) 3月中旬